

Ⅱ 結果の詳細

1 教科に関する調査

(1) 小学校国語

① 全体的な結果

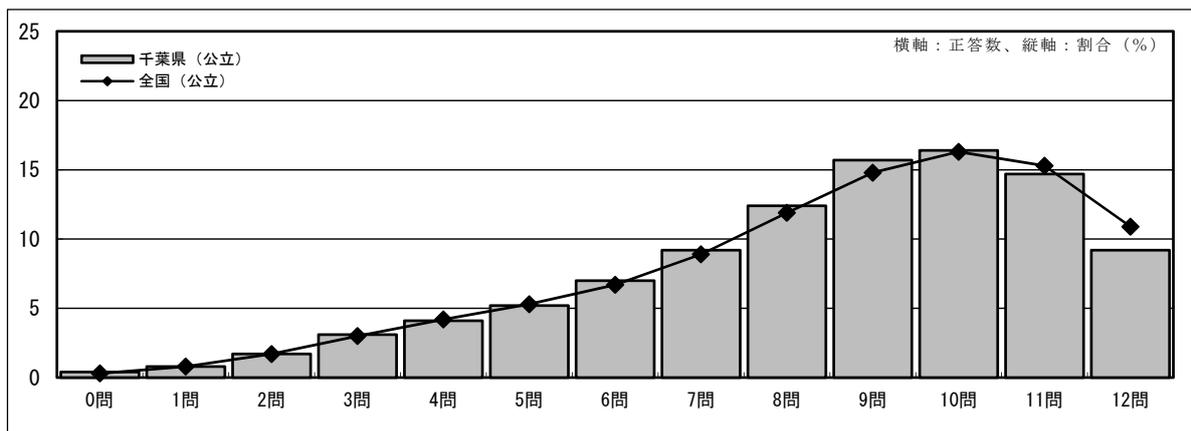
ア 正答数の分布

* 「A～D層」について

- ・各層は全国（公立）の児童を正答数の大きい順に整列させ、人数比率により25%刻みで4つの層分けを行っている。上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層と呼称する。正答数が同じ場合は、上位の層に含むため、25%を大きく超える場合がある。
- ・千葉県的人数比率は、全国のA～D層を基準に示してある。

【国語A】

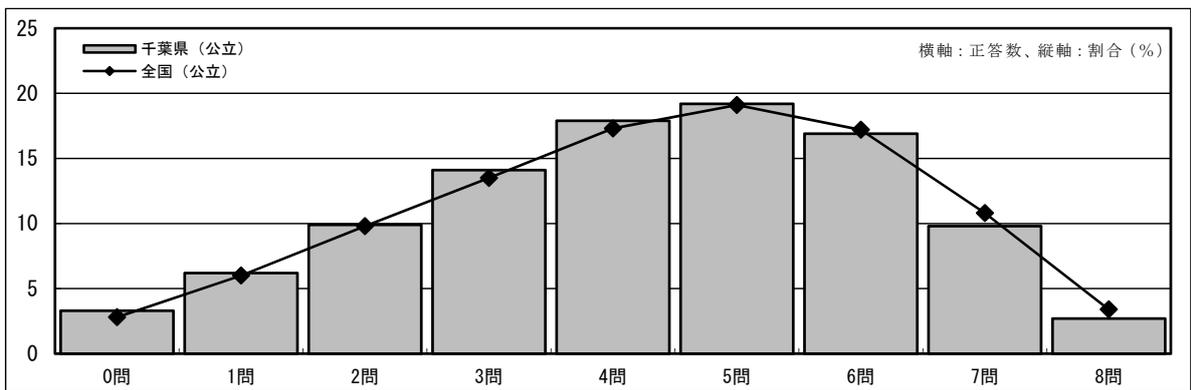
平均正答率は、全国と同程度である。正答数の分布は、全国と比べA層の割合が低く、B層の割合が高くなっている。



	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	*D層	*C層	*B層	*A層
					0～6問	7～8問	9～10問	11～12問
千葉県 (公立)	8.4問 / 12問	70%	9.0	2.6	22.3%	21.6%	32.2%	23.9%
全国 (公立)	8.5問 / 12問	70.7%	9.0	2.7	22.0%	20.7%	31.1%	26.2%

【国語B】

平均正答率は、全国と同程度である。正答数の分布は、全国と比べA層の割合が低く、C層の割合が高くなっている。



	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	*D層	*C層	*B層	*A層
					0～2問	3～4問	5問	6～8問
千葉県 (公立)	4.3問 / 8問	53%	4.0	1.9	19.5%	32.0%	19.2%	29.3%
全国 (公立)	4.4問 / 8問	54.7%	5.0	1.9	18.6%	30.8%	19.1%	31.4%

イ 調査区分ごとに見た傾向（全国を100としたときの指数で示している）

知識／活用

「知識」「活用」とともに、平均正答率は全国と同程度である。

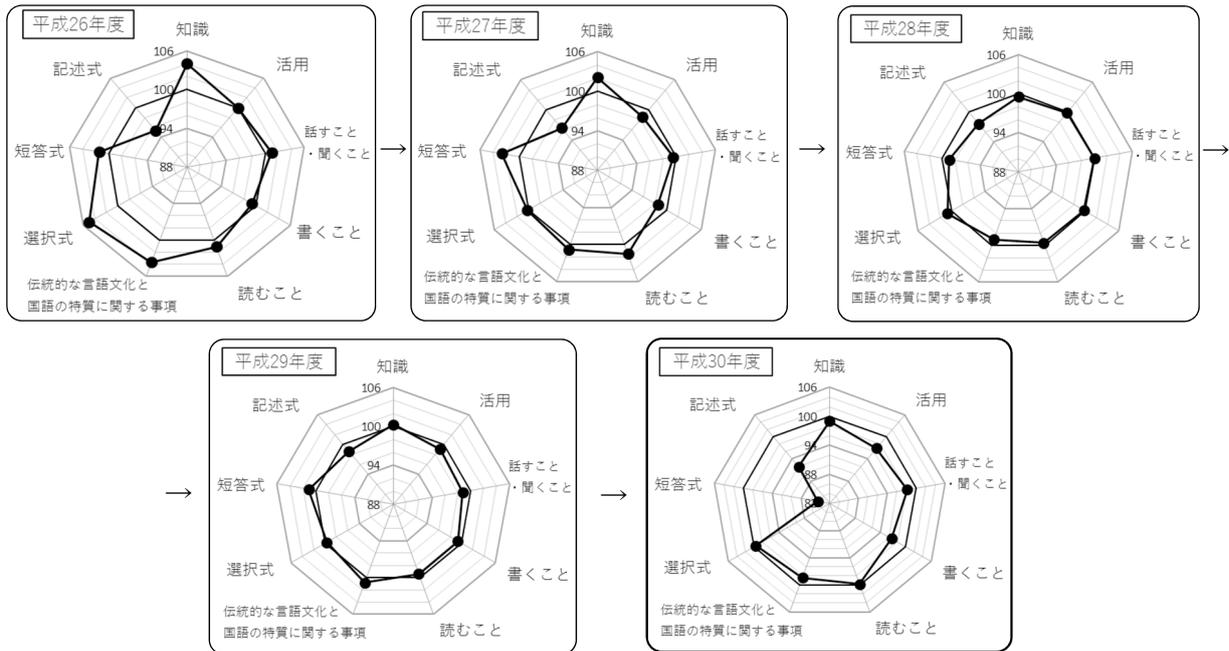
領域等

「書くこと」が全国を下回っている。「話すこと・聞くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、全国をやや下回っている。

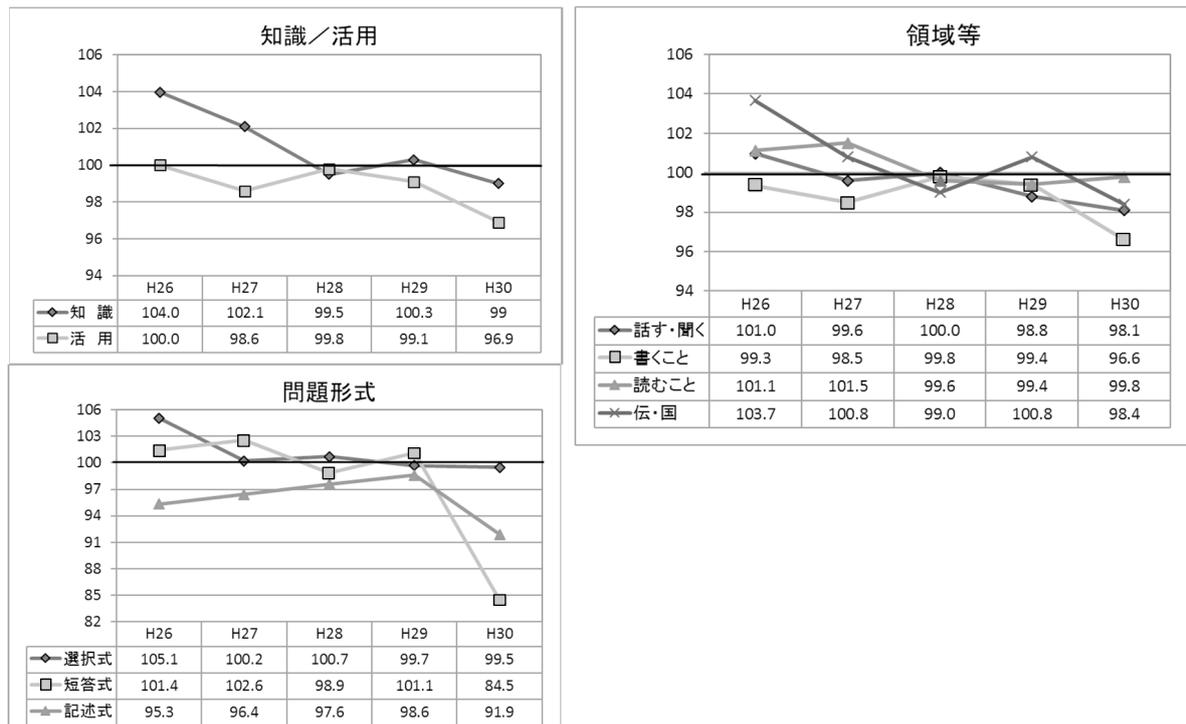
問題形式

「短答式」は、全国を大きく下回っている（該当設問は1題）。「記述式」は昨年度まで上昇傾向にあったが、今回は低下し、全国を大きく下回っている。

○チャートグラフ



○経年変化グラフ



② 各設問の結果

(凡例)

〔出題の趣旨〕

「課題改善」 過去の調査結果からの課題を踏まえた問題

「同一」 過去の調査と同一の問題

〔領域等〕 学習指導要領の領域等

「話」 話すこと・聞くこと 「書」 書くこと 「読」 読むこと

「伝」 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

〔評価の観点〕

「関」 国語への関心・意欲・態度 「話」 話す・聞く能力

「書」 書く能力 「読」 読む能力

「言」 言語についての知識・理解・技能

〔問題形式〕

「選」 選択式 「短」 短答式 「記」 記述式

□ 全国を上回るもの

■ 全国を下回るもの（課題あり）

△：全国との差3.0ポイント以上

▼：全国との差3.0ポイント以下

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)		
								千葉県(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国との差	
A	1	図書館への行き方の説明として適切なものを選択する	相手や目的に応じ自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す	話	3・4	話	選	91.0	0.2	0.2	0.1	
	2	物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する	自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える	書	5・6	書	選	73.0	-0.8	0.4	0.1	
	3	【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、【オムレツのページ】をどのように読めばよいか、適切なものを選択する	課題改善 目的に応じて必要な情報を捉える (H29)	読	3・4	読	選	73.4	-0.5	0.2	0.0	
								74.2	-0.2	0.5	0.0	
	4	物語を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する	登場人物の心情について、情景描写を基に捉える	読	5・6	読	選	75.3	1.3	0.4	0.1	
	5	【春休みの出来事の一部】の中で、……部と……部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す	課題改善 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く (H25) (H27)	伝	3・4	言	短	30.0	-5.5	▼	4.3	0.4
								35.1	-1.4		19.4	-0.8
51.7								-1.4		0.6	0.0	
6	慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する(心を打たれる)	中学校 同一問題 (H30中)	伝	3・4	言	選	90.3	-0.1		1.6	0.2	
							94.8	0.1		0.8	0.0	
7	【話を聞いている様子の一部】の□、□に入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する	相手や場面に応じて適切に敬語を使う	伝	5・6	言	選	55.8	-0.2	2.9	0.2		

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
								千葉県(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国との差
A	8ア	文の中で漢字を使う(せい造)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	伝	5・6	言	選	75.6	2.2	5.6	0.4
	8イ	文の中で漢字を使う(せつ備)		伝	5・6	言	選	83.1	0.9	6.6	0.3
	8ウ	文の中で漢字を使う(しょう毒)		伝	5・6	言	選	82.4	0.2	6.9	0.3
	8エ	文の中で漢字を使う(かん理)		伝	5・6	言	選	63.7	-1.3	7.7	0.3
	8オ	文の中で漢字を使う(せつ極的)		伝	5・6	言	選	46.0	-5.4 ▼	8.1	0.4
B	1一	【話し合いの様子の一部】における木村さんの発言の意図として、適切なものを選択する	話し合いの参加者として、質問の意図を捉える	課題改善 (H26)	5・6	話	選	80.9	-1.6	0.7	0.3
								60.9	0.7	3.9	0.4
	1二	【話し合いの様子の一部】における司会の発言の役割として、適切なものを選択する	計画的に話し合うために、司会の役割について捉える	課題改善 (H26)	5・6	話	選	78.1	0.6	0.9	0.3
								66.5	1.3	8.9	1.0
	1三	これから言葉をどのように使っていきたいかについて北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、□を書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる	話・書	5・6	関・話・書	記	29.3	-4.5 ▼	7.6	1.4
	2一	「かみかみあえ」についての【おすすめする文章】の最初の部分に□□□□のように書いた理由として適切なものを選択する	目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える	書	5・6	書	選	57.6	0.0	2.2	0.5
	2二	【おすすめする文章】の□□□□に、むし歯を防ぐ効果について、【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書く	目的や意図に応じ内容の中心を明確にして、詳しく書く	書	5・6	関・書	記	11.1	-2.4	3.0	0.3
	2三	【紹介する文章】を基にして【おすすめする文章】を書くときの工夫として適切なものを選択する	推薦するためには他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える	課題改善 (H29)	5・6	書	選	69.7	-1.1	4.2	0.8
32.1								-0.9	3.1	0.3	
3一	山下さんは、どのようなことが知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだのかその説明として適切なものを選択する	目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む	読	5・6	読	選	49.6	0.2	4.0	0.8	
3二	【伝記「湯川秀樹」の一部】を読んで、【ノートの一部】の□□□□最も心がひかれた一文とその理由の文章の□□□□□□□□に入る内容を書く	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む	書・読	5・6	関・書・読	記	51.0	-1.3	13.7	1.8	

小学校・国語【課題の見られた設問の例】

A 5	【春休みの出来事の一部】の中で、主語と述語とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す	問題の概要・趣旨		正答率(%)	
		県	差	県	差
		30.0	-5.5		

※「差」は、全国平均との差を示している。

【春休みの出来事の一部】文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

大山さんは、春休みの出来事について文章を書いたあと、読み返して、部とのつながりが合っていない文があることに気づきました。次の【春休みの出来事の一部】をよく読んで、あとの【問い】に答えましょう。

①ぼくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りました。②ぼくたちのチームは、地区大会で優勝したのです。③今年の春休みは、とてもじゆう実したものでなりました。でも、反省していることもあります。④反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけではなく、用具の手入れもしっかりがんばりたいと思います。

【問い】部と部とのつながりが合っていない文の番号を、①から④までの中から一つ選んで書きましょう。また、.....部はそのままで、文の意味が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

選んだ文の番号.....

書き直した一文

○正答は、主語と述語が照応していない文の番号④を選び、かつ述語を正しく書き直すことができていないものであるが、本県では④以外の文を選んだ児童の割合(類型6〜8)は合わせると四七・五%にのぼる。④を選びながら「用具の手入れをあまりしなかったです。」など、述語を主語と照応させて書くことができなかつた児童の割合(類型3、4)も七・七%である。

○本問は主語が人ではない上に、述語が動作であるため、主語と述語を適切に照応させるには「こと」などの体言を補う必要がある、本文中③の文は、その手がかりを提示するものでもあった。

○学習指導に当たっては、手紙や実用的な文、スピーチ原稿など、正しく書く必要性に迫られる学習場面を活用し、主語と述語が適切な係り受けの関係となることが、伝えたいことを相手に正確に伝える上で重要であることに気付くようにすることが大切である。

B 1 三	これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、自分の考えを書く	問題の概要・趣旨		正答率(%)	
		県	差	県	差
		29.3	-4.5		

【話し合いの様子の一部】

司会 (こま代表の人に考えを発表してもらいました。田中さんは、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるから言葉はみだれているという考え、北川さんは、言葉が省略して使われているから言葉はみだれているという考えでした。小池さんは、言葉の使われ方は時代によって変わるものだから、言葉はみだれていないという考えでした。三人の意見について、みなさんはどう考えますか。)

金子 田中さんが話したように、ぼくも本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉は確かに多いと思います。これからは、よく使っている言葉でも、疑問をもったときは意味を調べてみたいと思います。

青木 本来の意味とは異なる使われ方をしていると田中さんは言っていました。そのように使われ方をしても、自分の思いが相手に伝わることはあると思います。相手の理解を確かめながら言葉を使っていることだと思います。

◇司会 金子さんや青木さんは、これから言葉をどのように使っていきたいかについて話していました。みなさんも、そのことについての自分の考えも話してください。

松山 (話し合いが続く)

三 松山さんは「話し合いの様子の一部」の.....で、自分の考えを話します。あなたが松山さんなら、どのような考えを話しますか。その内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

○「.....」の金子さんや青木さんのように、代表で発表した北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、その取り上げたことに対してどう考えるのかを書くこと。

○◇司会が話しているように、「これから言葉をどのように使っていきたいか」について書くこと。

○八十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

○本県では正答の条件を満たして解答している児童の割合は二九・三%である。取り上げた意見に対する考えを書いた児童の割合(類型3)は十七・五%、一方、これから言葉をどのように使っていきたいかを書いた児童の割合(類型8)は十八・四%である。いずれも与えられた条件の片方のみを満たし、もう一方については欠落している解答である。

○設問三に関する、相手の意見を踏まえて自分の考えをまとめる際の指導事例については、平成三〇年度【小学校】授業アイデア例(国立政策研究所による。十七ページに掲載。県総合教育センターWebサイトよりダウンロード可能)を参照、活用されたい。

B 2 二	問題の概要・趣旨 給食の献立を【おすすめする文章】に、むし歯を防ぐ効果について、【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書く	正答率(%)	
		県	差
		11.1	-2.4

【保健室の先生の話から分かったこと】

食べ物をよくかむと、

- 口のまわりのきんにくを動かすことになり、のうの働きが活発になる。
- だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくい。
- まんぷく感が得られ、食べ過ぎにならない。
- 食べ物本来の味が分かるので、うす味の食事に慣れる。
- だ液の量が増え、消化がよくなる。

かみかみあえ



「かみかみあえ」は、するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。そのため、このような名前がついています。

するめのほかにも、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいろりも考えられています。

中華風ドレッシングの味やするめのうまみが野菜にしみこんでいます。

○ 学習指導に当たっては、複数の情報を関係付けて考える機会を設定し、図を用いて整理して考えたり、調べて分かった事柄や事実、自分の考えが相手に伝わるか考えたりできるようにすることが必要である。

○ 給食の献立を紹介する文章を書くに当たって、むし歯を防ぐ効果に要点を置き、【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】の双方から関連する内容を拾い上げる必要があるが、片方だけを取り上げて書いている解答(類型4)、双方に触れていながらむし歯を防ぐ効果についての適切な内容を取り上げて書くことができていない解答(類型8)が本県では多かった。

B 3 二	問題の概要・趣旨 【伝記「湯川秀樹」の一部】を読んで、【C】最も心がひかれた一文とその理由の文章に適切な内容を書く	正答率(%)		無解答率(%)	
		県	差	県	差
		51.0	-1.3	13.7	+1.8

【伝記「湯川秀樹」の一部】

秀樹は、大学を卒業した後もし引き続き大学に残って研究を続けたが、なかなか成果を出すことができなかった。そのころ世界では、秀樹が取り組んでいる研究の分野で新発見が相次いでいた。研究の見通しがつかず、秀樹にとって苦しい日々が続いていた。

昼夜を問わず、秀樹の頭の中には研究のことがあった。ふとんに入ってから研究のことを考え、次々にうかんでくるアイデアをわすれないために、まくらもとにはノートを置くようにした。そして、アイデアを思いっくに電灯をつけてノートに書きこむようにし、ねばり強く考え続けていた。秀樹は、だれも知らない真実を探ろうとしていたのである。

「自分の力で、やれるところまでやってみよう。」

この言葉は、自分の仕事を一つ仕上げた上でなければ、外国へ出かけたくない、と留学の話を通ったときの湯川博士の言葉である。湯川博士はわざわざいこうから、積み木に熱中したり、書道にしんぼう強く取り組んだり、一度始めたことを最後までやりとげようとしていた。また、

これらのことから、「自分の力で、やれるところまでやってみよう」という一文は、ねばり強く物事に取り組む湯川博士のことをよく表していると思った。

わたしは、勉強やスポーツに取り組んでいるとき、どちらうであきらめてしまうことがある。これからは湯川博士のように、ねばり強く最後までやりとげようしていきたい。

○ 目的に応じて文章の内容を的確に押さえるためには、何のために、何を知らたいのか、どのような情報が必要なのか、という目的を明確にした上で、全体の構成を把握しながら読むことが大切である。また、自分の考えを明確にするためには、必要な叙述を選び、他の部分に書かれていない叙述と比べたり、自分の知識や経験、考えなどと関係付けたりしながら自分の考えをまとめていくことが大切である。

○ 最も心がひかれた一文とその理由

③ 成果と課題

全体的な状況	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 知識(A問題)、活用(B問題)ともに全国と同程度である。 ◇ 「読むこと」の領域は、全国と同程度の状況が続いている。 ◇ 児童質問紙における、授業時間以外の読書時間の長さ、A問題、B問題の平均正答率との間に相関がみられる。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 主語と述語とのつながりを問う設問は、全国を大きく下回っている。今回と同様の趣旨で出題された平成27年度調査よりさらに低下しており、継続的課題である。 ◆ 「記述式」の正答率が昨年度より大きく低下している。特に、条件に応じて書くことや、複数の資料から必要な情報を適切に取り上げ、関連付けて書くことに課題がある。

話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて事例などを挙げながら筋道を立てて話すことについては、相当数の児童が理解できている【A1】。 ◇ 計画的に話し合うために司会の役割を捉えることについて、改善が見られる【B1二】。 ◆ 話し合いの参加者として質問の意図を捉えることは、全国をやや下回っている【B1一】。話し手だけでなく、聞き手の指導の充実を図り、メモの取り方や考えのまとめ方を具体的に理解できるように指導することが大切である。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 複数の資料の内容を関係付けて理解したり、表現したりすることに課題がある【B2二】。調べて分かった事柄や事実、自分の考えが明確に伝わるかどうかを意識できるように指導することが大切である。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 登場人物の心情について、情景描写を基に捉えることは、全国をやや上回っており、叙述を基に文章の内容を解釈することができている【A4】。 ◆ 目的に応じて必要な情報を捉えること【A3】や、複数の資料から適切な内容を取り上げて、それらを関係づけて理解したり、表現したりすることに課題がある【B3一】。図鑑や事典などを、目次や索引、見出しに着目して読む読み方を身に付けさせる指導を低・中学年から意図的に展開し、他教科等の学習活動にも生かすことが大切である。
伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 日常生活で使われている慣用句(心を打たれる)の意味を理解し、使うことは、相当数の児童が理解できている【A6】。 ◆ 主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことに課題がある【A5】。 ◆ 相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに課題がある【A7】。 ◆ 文の中で漢字を使うことについて、全国を大きく下回るものがある【A8】。 ・「せつ極的に開発している」【A8(オ)】
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 児童質問紙において、【51】「文章で解答する問題にどのように解答したか」という質問に対して、「全ての書く問題で最後まで書こうとした」と回答した児童の割合が昨年度に引き続き上昇傾向にある(H30 76.0%、H29 74.9%、H28 73.5%)。また【15】「普段どのくらいの時間読書をするか」について、1日当たり30分を超える回答をした児童の割合は、全国よりも高い状態が継続しており(千葉43.9%、全国41.1%)、児童が読書に親しんでいることがうかがえる。 ◆ 学校質問紙において、【65】「家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えたか」(千葉79.0%、全国84.4%)について、肯定的な回答の割合は、全国より低い。教科指導はもとより、日常の活動においても、必要な情報を捉えたり、伝えたい内容の中心を明確にして文章を書くことの習熟を図る場を、意図的に設定し、継続的に指導することが必要である。

国語

TYPE
I・II

B 1

「言葉の使い方を見直すために、話し合おう」

～相手と自分の意見とを比べて、自分の考えをまとめる～

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題が見られました。そこで、本アイデア例では、相手の意見を踏まえて、自分の考えをまとめることについての指導事例を紹介しつゝ、本アイデア例は、第5学年以上を対象としています。

課題の見られた問題の概要と結果

B 1 言葉の使い方を見直すために、話し合う

B 1三 正答率 **33.9%** これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、□ (自分の考え) を書く

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕A エ
〔第5学年及び第6学年〕B ウ

授業アイデア例

本アイデア例では、B 1設問三に関する指導事例を紹介しつゝ、以下は、話し合う学習の中でも、相手の意見を踏まえて、自分の考えをまとめる過程に着目した活動の例です。

学習活動 1 自分の意見と比べながら、友達の意見を整理する

ステップ1【考えをもつ】「生活の中で使っている言葉はみだれているか」について、自分の考えをもち、話し合いに参加する。

- ・立場：みだれている
- ・理由：「あけおめ」のように、省略した言葉を使う人が多い。



私は、省略した言葉を使う人が多いから、何となく言葉はみだれていると考えたけれど、みんなはどのように考えたのかな。

ステップ2【整理する】 B 1の【話し合いの様子の一部】を聞いて、友達の意見を整理し、自分の考えと比べる。

【 比 べ る 】

- 田中さん
- ・立場：みだれている
- ・理由：本来の意味とはことなる使われ方をしている言葉がある。(役不足)

比べて考えたことを整理する際には、児童の実態に応じて、それぞれの発言をメモとして書き残すことも考えられます。

ポイント

- 小池さん
- ・立場：みだれていない
- ・理由：時代によって言葉の使われ方が変わる。(例) 全然いい

私と立場は同じだけれど、田中さんの理由は、資料に基づいているものなのだな。

小池さんは、私と立場が逆だな。



そうか。省略した言葉を使うと言葉がみだれていると感じたのは、相手や場に合わないことや、意味が分かりにくくなることがあるからなのだな。

- 北川さん
- ・立場：みだれている
- ・理由：省略した言葉 → 相手や場に合わない意味が分かりにくくなる (例) ことよる

学習活動 2 友達の意見を踏まえて、自分の意見を見直す

ステップ3【考え直す】 学習活動1のステップ2で整理した友達の意見を踏まえて、「生活の中で使っている言葉はみだれているか」について考え直す。

北川さんの言っていた理由を、私も取り入れたいな。



- ・立場：みだれている
- ・理由：「あけおめ」や「ことよる」のように省略した言葉を使うと、相手や場によって分かりにくくなることもある。

ステップ4【まとめる】 「これから言葉をどのように使っていきたいか」について、メモを基に自分の考えを簡潔にまとめ、発表し合う。



北川さんも話していましたが、「あけおめ」や「ことよる」のように言葉を省略して話すと、相手によって意味が分かりにくくなることもあると思います。だから、私は、相手や場に合わせて言葉を使っていきたいです。

本授業アイデア例 活用のポイント!

- 自分の考えをまとめる際には、相手の意見と自分の意見との共通点や相違点を整理することなどが大切です。相手の意見を聞いて考えたことや、共感したり納得したりした内容や事例を取り上げるなどして、自分の考えを筋道を立ててまとめることができるように指導を工夫することが必要です。

参照▶「平成30年度 報告書 小学校 国語」P.52～P.59、「平成30年度 解説資料 小学校 国語」P.37～P.44

(国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」より)

(2) 中学校国語

① 全体的な結果

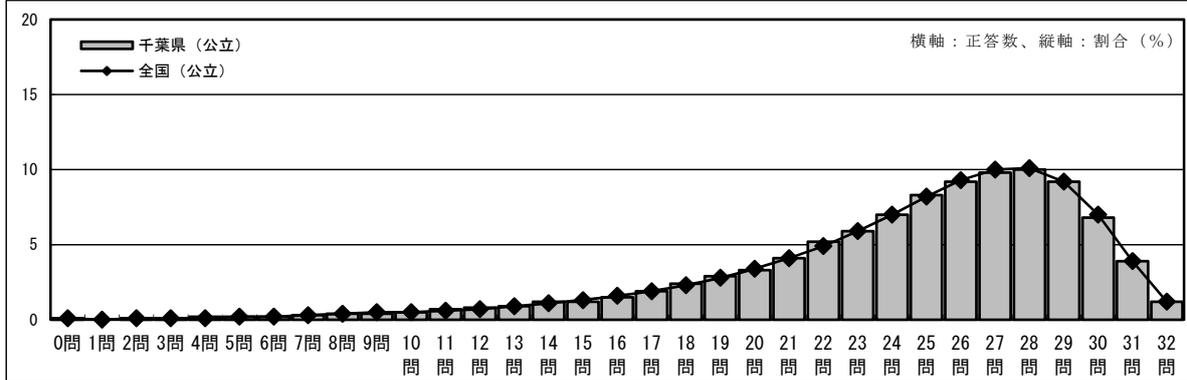
ア 正答数の分布

* 「A～D層」について

- ・各層は全国（公立）の生徒を正答数の大きい順に整列させ、人数比率により25%刻みで4つの層分けを行っている。上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層と呼称する。正答数が同じ場合は、上位の層に含むため、25%を大きく超える場合がある。
- ・千葉県的人数比率は、全国のA～D層を基準に示してある。

【国語A】

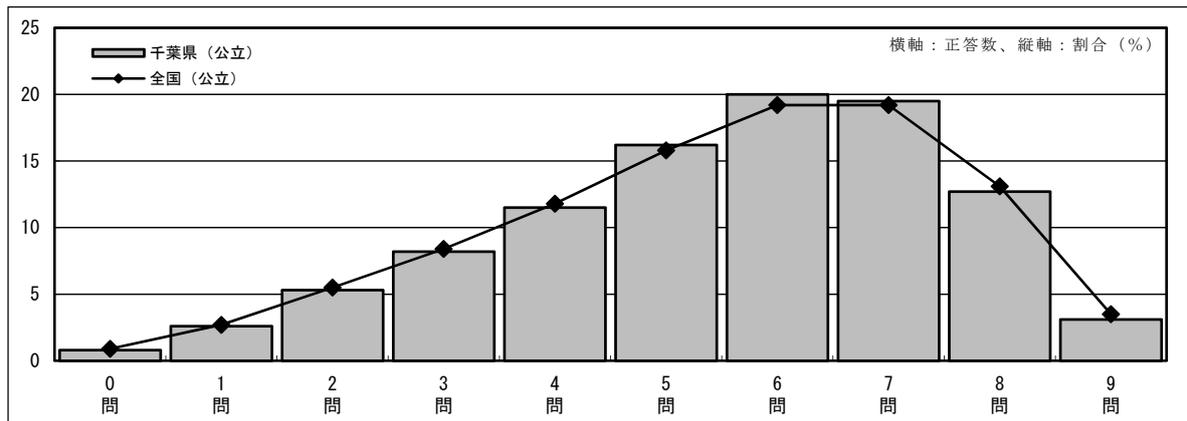
平均正答率は、全国と同程度である。正答数の分布は、A～D層のすべてにおいて全国とほぼ同じである。



	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	* D層	* C層	* B層	* A層
					0～21問	22～25問	26～27問	28～32問
千葉県 (公立)	24.3問 / 32問	76%	26.0	5.3	23.4%	26.3%	19.0%	31.2%
全国 (公立)	24.3問 / 32問	76.1%	26.0	5.3	23.3%	26.1%	19.2%	31.4%

【国語B】

平均正答率は、全国と同程度である。正答数の分布は、A～D層のすべてにおいて全国とほぼ同じである。



	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	* D層	* C層	* B層	* A層
					0～3問	4～5問	6問	7～9問
千葉県 (公立)	5.5問 / 9問	61%	6.0	2.0	17.0%	27.7%	20.0%	35.3%
全国 (公立)	5.5問 / 9問	61.2%	6.0	2.0	17.4%	27.6%	19.2%	35.8%

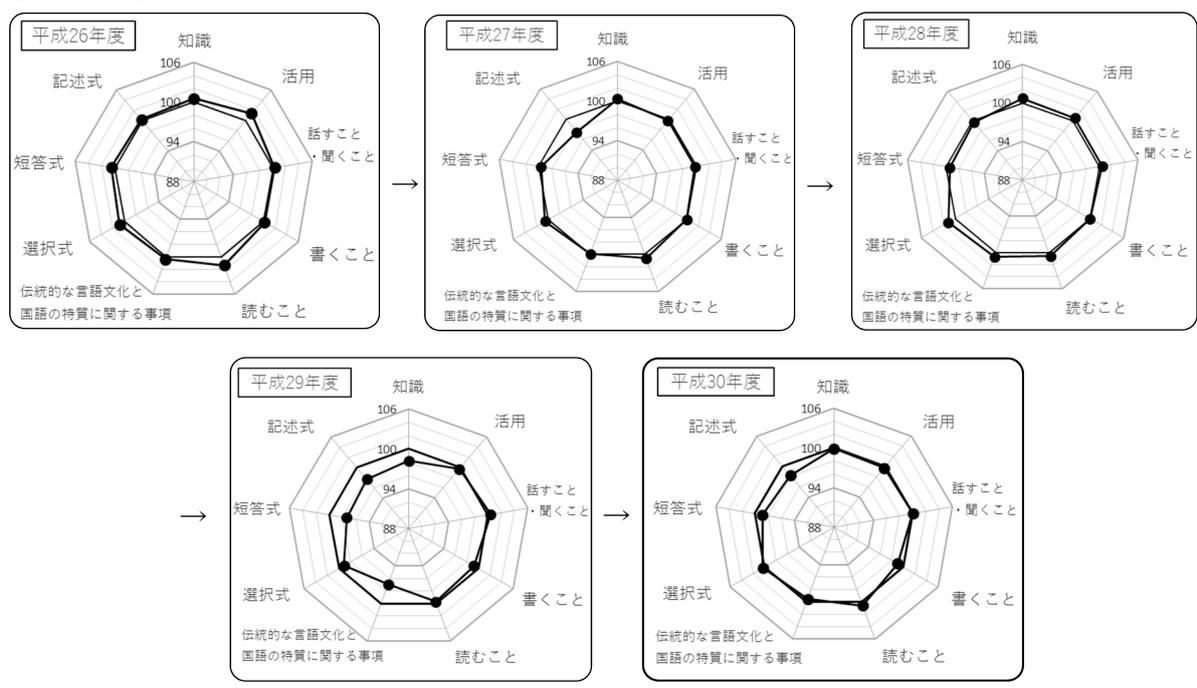
イ 調査区分ごとに見た傾向（全国を100としたときの指数で示している）

知識／活用
 「知識」「活用」ともに全国と同程度である。

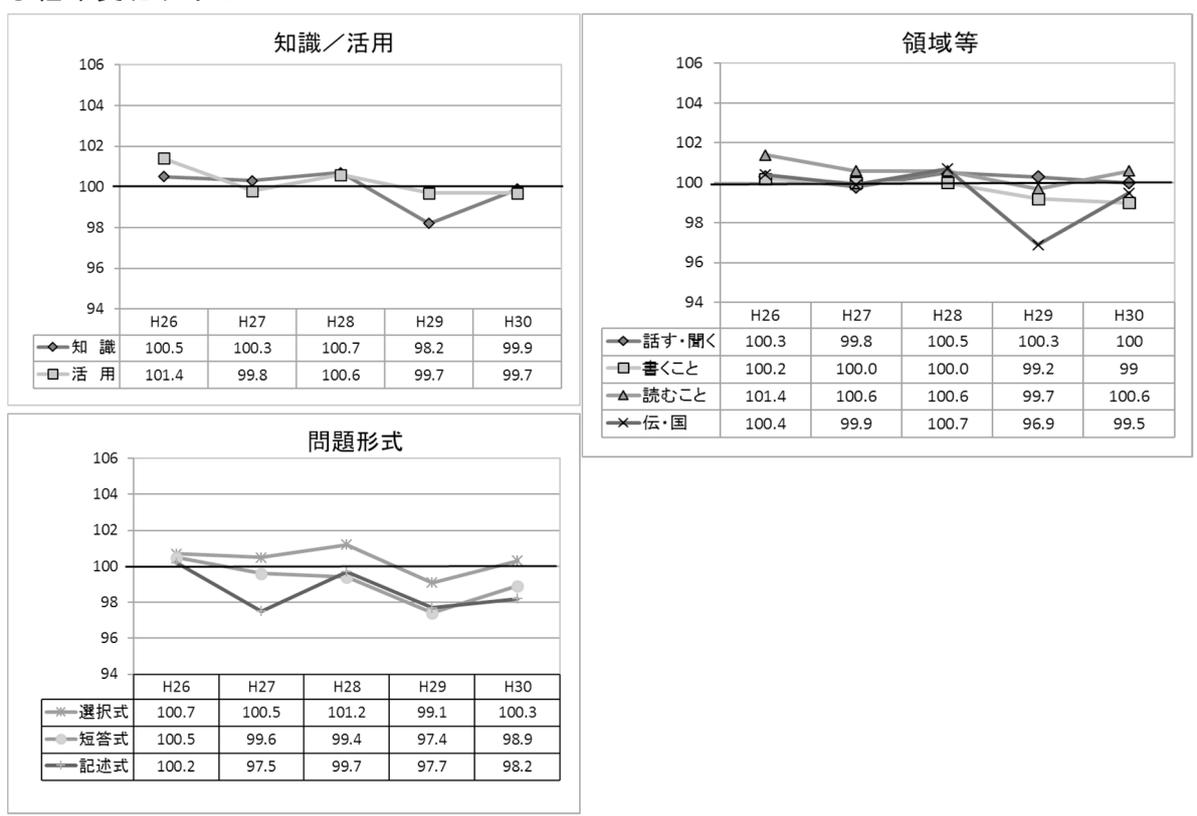
領域等
 昨年度の課題「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に改善がみられた。

問題形式
 「短答式」「記述式」が全国をやや下回っているが、昨年度に比べ改善がみられた。

○チャートグラフ



○経年変化グラフ



② 各設問の結果

(凡例)

〔出題の趣旨〕

「課題改善」 過去の調査結果からの課題を踏まえた問題

「同一」 過去の調査と同一の問題

〔領域等〕 学習指導要領の領域等

「話」 話すこと・聞くこと 「書」 書くこと 「読」 読むこと

「伝」 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

〔評価の観点〕

「関」 国語への関心・意欲・態度 「話」 話す・聞く能力

「書」 書く能力 「読」 読む能力

「言」 言語についての知識・理解・技能

〔問題形式〕

「選」 選択式 「短」 短答式 「記」 記述式

□ 全国を上回るもの

■ 全国を下回るもの（課題あり）

△：全国との差3.0ポイント以上

▼：全国との差3.0ポイント以下

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率		無解答率		
								千葉県（公立）	全国との差	千葉県（公立）	全国との差	
A	1	スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く	話	2	話・聞	選	87.3	-0.1	0.1	0.0	
	2一	図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なものを選択する	書こうとする事柄のまとめや順序を考えて文章を構成する	書	1	書	選	89.1	-0.4	0.4	0.1	
	2二	二つの意見の内容を一文で書き加える	伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く	書	2	書	短	63.9	-0.1	3.8	0.5	
	3一	「それは掛け値のない一、二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する	読	1	読	選	88.9	0.7	0.2	0.0	
	3二	父と保吉の言動についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する	課題改善 (H27小)	読	1	読	選	83.7	0.9	0.2	0.0
									68.5	1.0	2.5	-0.1
	4一	意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する	書	1	書	選	62.9	0.1	0.2	0.0	
4二	段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選択する	段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする	書	2	書	選	78.7	-0.7	0.3	0.0		

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率		無解答率	
								千葉県(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国との差
A	5一	本文の第六段落の説明として適切なものを選択する	段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる	読	2	読	選	75.3	-1.0	0.5	0.0
	5二	新聞紙の製造工程の一部を言い表したものとして適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える	読	1	読	選	59.4	-0.1	0.4	0.0
	6一	話し合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える	話	1	話	選	74.3	1.9	0.6	0.1
	6二	話し合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く	話し合いの話題や方向を捉えて的確に話す	話	1	話	短	67.4	1.6	14.7	1.4
	7一	場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する(ハナイカダ)	語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える	伝	1	言	選	87.6	0.3	0.6	0.0
	7二	「それでは」の働きとして適切なものを選択する	接続詞の働きについて理解する	伝	1	言	選	88.6	0.2	0.9	0.0
	8一1	漢字を書く(紙をひもで <u>く</u> ねる)	文脈に即して漢字を正しく書く	伝	2	言	短	77.0	-2.0	15.9	2.7
	8一2	漢字を書く(舞台の <u>ま</u> くが上がる)		伝	2	言	短	73.7	0.8	15.5	1.1
	8一3	漢字を書く(先制点を <u>く</u> る)		伝	2	言	短	70.4	-1.0	21.2	1.7
	8二1	漢字を読む(模型を作る)	文脈に即して漢字を正しく読む	伝	2	言	短	96.2	0.5	1.9	0.0
	8二2	漢字を読む(池の水が <u>く</u> る)		伝	2	言	短	97.9	0.1	1.0	0.1
	8二3	漢字を読む(技を <u>く</u> る)		伝	2	言	短	98.0	-0.1	1.2	0.1
	8三ア	適切な語句を選択する(立場の異なる両者の主張は終始一貫して変わらず、最後まで結論が出なかった)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	伝	1	言	選	80.0	2.3	0.9	0.1
	8三イ	適切な語句を選択する(魚の中には群れを作って泳ぐ習性をもつものがある)		伝	2	言	選	91.7	0.7	0.5	0.0

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
								千葉県(公立)	全国との差		千葉県(公立)	全国との差	
A	8三ウ	適切な敬語を選択する(先生が私たちに大切なことをおっしゃった)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	伝	2	言	選	87.1	-0.9		0.6	0.0	
	8三エ	適切な語句を選択する(彼はせきを切ったように話し始めた)		伝	1	言	選	31.4	2.2		1.0	0.1	
	8三オ	適切な語句を選択する(意見の折り合いをつける)		伝	1	言	選	62.0	0.2		0.9	0.0	
	8三カ	適切な語句を選択する(わたしが健康になったのは、ひとえに母のおかげです)		同一問題	伝	1	言	選	66.1	0.7		1.0	0.0
				(H22)					63.3	1.7			
	8三キ	適切な語句を選択する(姉はみんなと一緒に運動をすることが好きだ。一方、妹は一人で本を読むことが好きだ)		伝	1	言	選	95.0	-0.2		1.1	0.1	
	8四1	「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する	小学校 同一問題	伝	小3・4	言	選	94.8	0.1		0.8	0.0	
			(H30小)					90.3	-0.1				1.6
	8四2	「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く	課題改善	伝	2	言	短	21.2	-1.1		7.3	0.8
									(H27小)	51.7	-1.4		
	8五	作品への助言として適切なものを選択する	行書の基礎的な書き方を理解して書く	伝	1	言	選	52.9	-1.5		1.3	0.1	
	8六1	『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す(いはく)	古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉える	伝	2	言	短	90.3	-0.8		5.5	0.4	
	8六2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(とほさざるなし)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む	伝	1	言	短	57.0	-6.0	▼	8.6	1.2	
	8六3	『韓非子』の中で矛盾していることの説明として適切なものを選択する	古典に表れたものの見方や考え方を理解する	伝	2	言	選	81.2	-0.1		2.4	0.2	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率	
								千葉県(公立)	全国との差		千葉県(公立)	全国との差
B	1一	グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する	文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える	読	1	読	選	45.7	-0.2		0.2	0.0
	1二	複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ	読	1	読	選	66.6	2.3		0.2	0.0
	1三	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く	書・読	2・1	関・書・読	記	12.1	-1.2		7.2	0.2
	2一	二人の質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	話	1	話	選	87.2	0.4		0.2	0.0
	2二	二人に続いてする質問を書く	話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する	話	1	関・話	記	87.9	-0.4		6.3	0.4
	2三	ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す	話	1	話	選	51.3	-3.3	▼	0.4	0.0
	3一	登場人物についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する	読	1	読	選	80.8	0.6		0.4	0.0
	3二	文章中の表現について語った人物として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる	読	2	読	選	71.5	3.3	△	0.4	0.0
	3三	話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く	相手に的確に伝えるように、あらすじを捉えて書く	書・読・伝	1・1・2	関・書・読・言	記	48.2	-1.0		13.8	1.4

中学校・国語【課題の見られた設問の例】

A 5 二	新聞紙の製造工程の一部を言い表したものとして適切なものを選択する	問題の概要・趣旨		正答率 (%)	
				県	差
				59.4	-0.1

※「差」は、全国平均との差を示している。

1 離解工程
2 粗選工程
3 脱墨工程
4 脱水工程

二 【新聞紙の製造工程】の⑦「泡にインクや異物を吸着させて取り除く」は、どの製造工程にあたりますか。次の1から4までのうち、最も適切なもの一つ選びなさい。

【新聞紙の製造工程】

(概略)



○正答は3であるが、本県では2を選んだ生徒の割合(類型2)も二六・九%であった。この文章では、それぞれの工程の説明の後に、「粗選工程」のように工程名が示されているが、「脱墨工程」については、「……脱墨工程に入ります。これは、空気を吹き込んで泡をたて、泡にインクや異物を吸着させて取り除くものです。」というように分け書きになっている。このような表現上の特徴を捉えることができず、図表⑦の「泡にインクや異物を吸着させて取り除く」の「異物」という部分と、文章の「古紙の異物を取り除き(粗選工程)」の「異物」という部分とを結びつけて捉えた生徒もいたと考えられる。

○図表が文章のどの部分と関連しているかを確認し、図表の役割について考えたり、文章の内容を捉えるためにどのような図表が必要かを考えたりするなどの学習活動が必要である。

⑦ 新聞紙の製造工程は、回転するスクリーンで古紙をほぐしながら、摩擦によってインクをはがします(離解工程)。そして、古紙の異物を取り除き(粗選工程)、脱墨工程に入ります。これは、空気を吹き込んで泡をたて、泡にインクや異物を吸着させて取り除くものです。

⑧ ここまでが、古紙処理の工程で、次に紙製造工程に入ります。ここでは、まず、噴射された原料を、プラスチック製の網でできた2枚のワイヤーで挟んで脱水します(脱水工程)。そして、ロールとロールで紙を加圧して水分を絞り込み(搾水工程)、蒸気で加圧した金属製の円筒に紙を密着させて乾燥させ(乾燥工程)、仕上げ工程に入ります。ここでは、ロールの間を通して紙を滑らかにし(カレンダー)、紙を巻取ります(リール)。そして、必要な幅・長さ仕上げる(ワインダー)、大きなロールとして出荷します。

A 8 四 2	慣用句「心を打たれた」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)の」「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	問題の概要・趣旨		正答率 (%)	
				県	差
				21.2	-1.1

四 次の各問いに答えなさい。

1 次の言葉の意味として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

心を打たれる

1 遠慮する。
2 感動する。
3 一つのこと集中する。
4 あれこれと心配する。

2 「心を打たれた。」を文末に用いた一文を書きなさい。なお、「心を打たれた」の主語を明らかにした上で、「誰(何)の」「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書くこと。

○平成二十七年調査では、「文の中における主語を捉えることができるかどうかをみる」問題【小学校A2-1】に課題がみられた。これを踏まえて出題されたこの設問「目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く」の正答率は千葉二一・二%、全国二二・三%であった。今回の結果から、文の中における主語を捉えたり、主語を明示しながら適切に表現したりすることに引き続き課題があると考えられる。

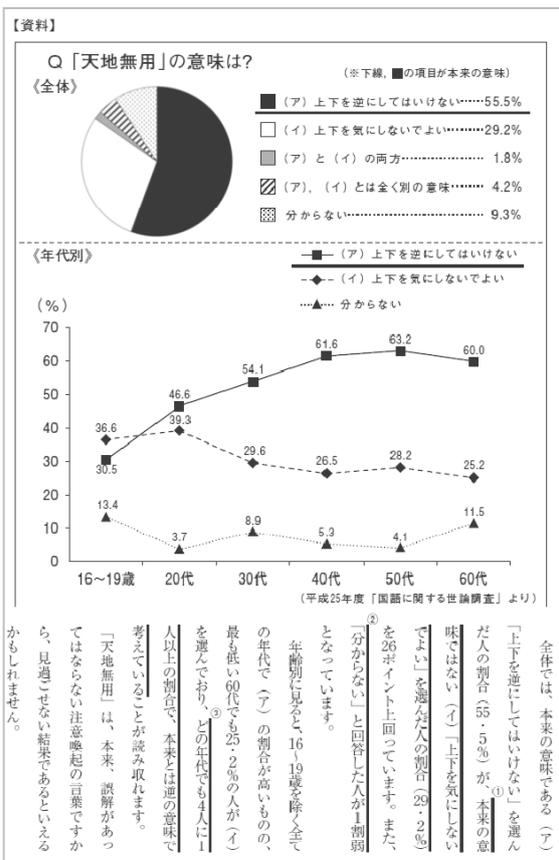
○本県では、慣用句の意味を理解し、「誰(何)の」「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書きながらも、主語を明確にして書くことができなかった生徒の割合(類型5)は六四・一%である。

なお、今回の【小学校A5】の結果をみると、小学校においても主語と述語の照応の理解については依然として課題であることが分かる。

○文を書く際には、文の成分の順序や主語と述語の照応などを整え、伝えたいことが相手に適切に伝わるようになっていくかを常に吟味するように指導することが大切である。

問題の概要・趣旨		正答率 (%)	
B 1 一	グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する	県	差
		45.7	-0.2

【資料】
 1 線部①「本来の意味ではない(イ)上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合(29.2%)
 2 線部②「分からない」と回答した人が1割弱
 3 線部③「どの年代でも4人に1人以上の割合で、本来とは逆の意味で考えている」
 4 線部④「反対の意味だと考えている人と意味が分からないという人を合わせると4割近い」



平成25年度の「国語に関する世論調査」で、「天地無用の荷物」という例文を挙げて、その意味を尋ねました。結果は次のとおりです。

○正答は3であるが、本県では1を選んだ生徒の割合(類型1)も四一・二%にのぼり、正答率とほぼ拮抗する結果となった。このように解答した生徒は、文章の「全体では」という表現で始まる段落と《全体》のグラフ、文章の「年齢別に見ると」という表現で始まる段落と《年代別》のグラフをそれぞれ結び付けながら読み、内容を正しく捉えることができていないものと考えられる。

○A5二と本設問ともに誤答であった生徒の割合は、全国で二三・七%である。文章と図表などに関連させて内容を捉えることができていないと考えられる。

○グラフや図表、写真やイラストなどが用いられている文章を読む際には、文章の構成や展開を適切に把握し、それぞれの図表などが文章のどの部分と関連しているのかを捉えるように指導することが大切である。

問題の概要・趣旨		正答率 (%)	
B 2 三	ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する	県	差
		51.3	-3.3

三 山川さんは、最後にロボットに期待することを述べて発表をまとめます。山川さんの話の進め方として最も適切なものを、次の1から4までのうちから一つ選びなさい。

1 これまで話してきた内容を聞き手のやりとりを踏まえた上で、【資料】の中の【3】の情報を取り上げながら発表をまとめる。
 2 聞き手のやりとりを通して生まれた新たな考えをもとに、【資料】の中の【1】と【2】の情報を駆使して発表をまとめる。
 3 これまで話してきた内容を聞き手のやりとりは踏まえずに、【資料】の中の【3】の情報を駆使して発表をまとめる。
 4 聞き手のやりとりの内容を受けて話の方向を転換し、【資料】の中の【3】の情報を駆使して発表をまとめる。

【資料】

ロボットに期待すること

1 人とコミュニケーションをとるロボットの例

人型のロボット

動物型のロボット

2 ロボットができることの例

- 人の言葉や行動を認識して反応する。
 - ・ 簡単な日常会話をする。
 - ・ ニュースや天気予報を伝える。
- 人と触れ合うことで学習する。
 - ・ 一人一人の顔を覚える。
 - ・ 接する相手に合わせて動く。

3 これからの社会とロボット

- ・ 65歳以上の人口の割合は、2060年には日本の総人口の約4割になる見込み。
- ・ 総務省のアンケート調査では、60代以上の54.5%が、人とコミュニケーションをとるロボットを「利用したい」、「利用を検討してもよい」と回答。(総務省ウェブサイトによる。)

② 山川さんは、総合的な学習の時間に、ロボットについて発表しています。次は、山川さんが発表のために作成した【資料】「発表の直前の場面」と、それに続く「発表・質問の場面の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(発表の直前の場面)の中は、頭の中で考えていることを表します。

○正答は1であるが、2を選んだ生徒の割合(類型2)は三三・一%である。このように解答した生徒は、【資料】の中の【3】の情報を取り上げながら発表をまとめることが、目的に合った適切な話の進め方であることが理解できていないものと考えられる。4を選んだ生徒(類型4、十三・七%)は、聞き手の反応を踏まえて話すことについての意識はあるが、「ロボットに期待すること」を発表するという目的を意識することができていないものと考えられる。

○説明や発表などをする際には、話の全体として伝えたいことを明確にし、それを分かりやすく伝えるために各部分をどのように組み立てるかを考えるように指導することが大切である。また、聞き手の反応から、話の受け止め方や理解の状況を捉え、それらを踏まえながら話すように指導することも重要である。

③ 成果と課題

全体的な状況	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 知識（A問題）、活用（B問題）ともに全国と同程度である。 ◇ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、昨年度は全国を下回っていたが、改善が見られ、全国と同程度である。 ◇ 読書をしている生徒の割合は、全国をやや上回る状況が続いている。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「短答式」「記述式」の設問が全国をやや下回っている。 ◆ 目的に応じて文章を読む際、情報を整理し内容を的確に捉えることに課題がある。 ◆ 生徒質問紙において「文章などで解答する問題を最後まで書こうと努力した」と回答した生徒の割合は、全国より低い傾向が続き、昨年度よりも低下した。

話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞いたり【A1一】、必要に応じて質問したりすること【B2二】は全国と同程度であり、相当数の生徒が理解できている。 ◆ 話し合いの話題や方向を捉えて的確に話したり【A6二】、全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話したりすること【B2三】（千葉51.3%、全国54.6%）に課題がある。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成することは相当数の生徒が理解できている【A2一】。 ◆ 伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くことに課題がある【A2二】。 ◆ 文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことに課題がある【A8四2】。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することは、調査対象学年の平成27年度小学校国語A問題（千葉68.5%）からの推移をみると、身に付いてきていると考えられる【A3二、B3一】。 ◆ 情報を整理して内容を的確に捉えることに課題があり、特に文章とグラフやメモなど複数の資料を読み合わせて必要な情報を捉えること【A5二】【B1一、三】に課題がある。図表が示された文章を読む際には、文章の構成や展開を捉えながら、図表が文章のどの部分と関連しているのかを確認するなどして、書き手の伝えたいことをよりの確に読み取るように指導することが大切である。
伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 文脈に即して漢字を正しく読むことは、できている【A8二1、2、3】。 ◆ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、課題がある【A8三エ、オ、カ】。 ◆ 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことに課題がある【A8四2】。調査対象学年の平成27年度小学校A問題で見られた、主語と述語の照応の理解についての課題が改善に至っていないと考えられる。なお、今回の小学校A5問題にも同じ課題が見られ、「書くこと」との関連を図りつつ指導することが必要である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 生徒質問紙において、【15】「普段どのくらいの時間、読書をするか」（千葉32.7%、全国30.9%）について、1日当たり30分を超える回答をした生徒の割合は、全国をやや上回っており、読書に親しんでいるようすがうかがえる。 ◆ 学校質問紙において、【62】「家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えたか」（千葉66.1%、全国73.7%）について、肯定的回答の割合が全国より低い。【78】「言語活動について、国語科だけでなく学校全体で取り組んでいるか」（千葉86.6%、全国90.7%）では、肯定的回答の割合は全国よりやや低く、全国と同程度の結果を示した小学校（千葉/全国ともに94.2%）よりも低い。

授業アイデア例

⑤ ④の発表をグループで振り返る。

振り返りの観点的例

- 相手の反応を踏まえて、聞き手に問いかけたり質問を促したりすることができたか。
- 聞き手とのやりとりを生かして、「聞きたいこと」を伝えることができたか。

「3 宇宙飛行士の仕事内容」について説明しているときに、Bさんが首をかしげていたので、そのタイミングで質問を付けてみました。また、そこでやりとりした内容を生かして話をまとめてみたのですが、どうでしたか。



「宇宙飛行士の仕事内容」の説明を聞いていてるときに、宇宙飛行士の地上での仕事内容が気になりました。Aさんが、そのタイミングで質問を受け付けてくれたのはよかったです。

話のまとめ方についてですが、Bさんの質問を受けて、宇宙飛行士の仕事の大変さを強調しながら、その魅力をまとめていたので、とても分かりやすかったです。

※ ④、⑤を繰り返し、グループ内の全員の発表とその振り返りを行う。

⑥ で振り返った内容を基に、各自で「話の構成シート」や質問を受けるタイミングなどを見直す。

第4時

⑦ グループを変えて発表する。

「3 宇宙飛行士の仕事内容」話し終えた後の場面の例

Dさん

……宇宙飛行士は地上で何をしているのか疑問をもたれるかもしれないですね。宇宙飛行士は、地上では日々訓練や講義活動などを行っています。

Eさん

みんなうなぎを食わなければならないという話、話のまとめに入ってもよさそうですね。

Aさん

このように、宇宙飛行士は宇宙開発の更なる発展のために、様々な仕事を行っています。大変だけれど、人類の未来につながることで、やりがいのある仕事だと言えます。……宇宙飛行士の魅力が分かっていただけでよかったらいいな。

⑧ ⑦の発表をグループで振り返る。

※ ⑥、⑧を繰り返し、グループ内の全員の発表とその振り返りを行う。

⑨ 学習を振り返る。

1回目の発表で、聞き手が宇宙飛行士の地上での仕事内容についての質問があったので、2回目では、その説明を加えて発表したところ、DさんやEさんがうなぎを食わなければならない、聞き手の反応を踏まえてから話した方が、伝えたいことを効果的に伝えられることが分かりました。

本授業アイデア例 ▶ 活用のポイント!

- 「平成27年度 [中学校] 授業アイデア例」P.5～P.6 「テーマを決めて、プレゼンテーション対決をしよう」と関連させて指導することも考えられる。また、必要な情報を集める際には、「平成25年度 [中学校] 授業アイデア例」P.9～P.10 「『世界遺産』の資料に、新たな情報をプラスしよう」、「平成28年度 [中学校] 授業アイデア例」P.7～P.8 「興味をもった疑問に思いついたことについて調べよう」も参考になる。
- 他教科の学習で取り扱った題材などを用いて学習することも考えられる。
- 国語科で学習した発表の仕方や質問の仕方を、他教科等の学習に生かすことも考えられる。

参照 ▶ 「平成30年度 報告書 中学校 国語」P.73～P.77、「平成30年度 解説資料 中学校 国語」P.62～P.67

「テーマに沿って、調べたことや考えたことを発表しよう」

～相手の反応を踏まえながら話す～

目的や場面に応じて発表の中で、全体と部分との関係に注意し、聞き手の反応を踏まえながら話を組み立てることに課題が見られました。そこで、本アイデア例では、テーマに沿って調べたことや考えたことを発表し合う学習を提案します。話の構成を聞き手に示しながら話すことや、聞き手に対して質問を促したりしなげたりしながら話すことを通じて、聞き手とのやりとりを踏まえながら、伝えたいことを明確に話す方を身に付けることを狙っています。

課題の見られた問題の概要と結果

- B2.1 資料を作成して発表する (ロボット) 学習指導要領における領域・内容 (第1学年) A 話すこと・聞くこと・イ
- B2.2 正答率 55.1% ロボットに期待することを踏まえて発表をまとめる 際の話の運び方として適切なものを選択する。

授業アイデア例

学習の流れ

「様々な職業の魅力」というテーマに沿って、調べたことや考えたことを発表する。

各自で「話の構成シート」を作成する。(第2時)

グループ内で発表を行うとともに、その振り返りを行う。(第4時) 学習を振り返る。

（言語活動）「様々な職業の魅力」というテーマに沿って、調べたことや考えたことを発表する。

第1時

- 1 学習の見通しをもち、自分が調べたい職業について考える。
- 2 各自で必要な情報を集める。

第2時

- 3 調べたことを基に、「話の構成シート」を作成し、発表の内容や質問を受けるタイミングなどを考える。

「聞きたいこと」を端的に示した上で、話の構成が分かるように見出しを書きましょう。また、聞き手に問いかけたり質問を促したりするタイミングについても考えておきましょう。作成した「話の構成シート」は、次の時間、グループごとに配付します。

教師

第3時

- 4 グループ内で発表する。聞き手は「話の構成シート」を手元に置き、特に聞きたいと思った事柄などを意識しながら発表を聞く。

「3 宇宙飛行士の仕事内容」話し終えた後の場面の例

Bさん

Bさんが首をかしげていた。事前に考えていたとおり、1,2私がか心を打たれた宇宙飛行士の言葉の説明の後で質問を受けてみたのだけれど、ここでもう一度聞いてみようかな。

Cさん

……というのが、宇宙飛行士の仕事内容のことについて何か質問はありますか。Bさんは、いいかですか。

Bさん

宇宙飛行士の宇宙空間での仕事内容は分かりましたが、地上ではどのような仕事をしているのですか。

宇宙飛行士は、地上では日々訓練や講義活動などを行っています。このように、宇宙飛行士は宇宙開発の更なる発展のために、様々な仕事を行っています。大変だけれど、人類の未来につながることで、やりがいのある仕事だと言えます。